

金箔瓦、織豊政権の威光を天下に示す

イ ウンジン
京都市考古資料館 李 銀眞

I. 金箔瓦とは？

- 1) 金箔瓦の概説
- 2) 金箔瓦の種類および使用先（※展示品の種類に限る）
 - ①鯢瓦（しゃちがわら・しゃちほこがわら）
 - ②鬼瓦（おにがわら）
 - ③熨斗瓦（のしがわら）
 - ④面戸瓦（めんどがわら）
 - ⑤輪違瓦（わちがいがわら）
 - ⑥菊丸瓦（きくまるがわら）
 - ⑦軒丸瓦（のきまるがわら）
 - ⑧軒平瓦（のきひらがわら）

3) 金箔の貼り方

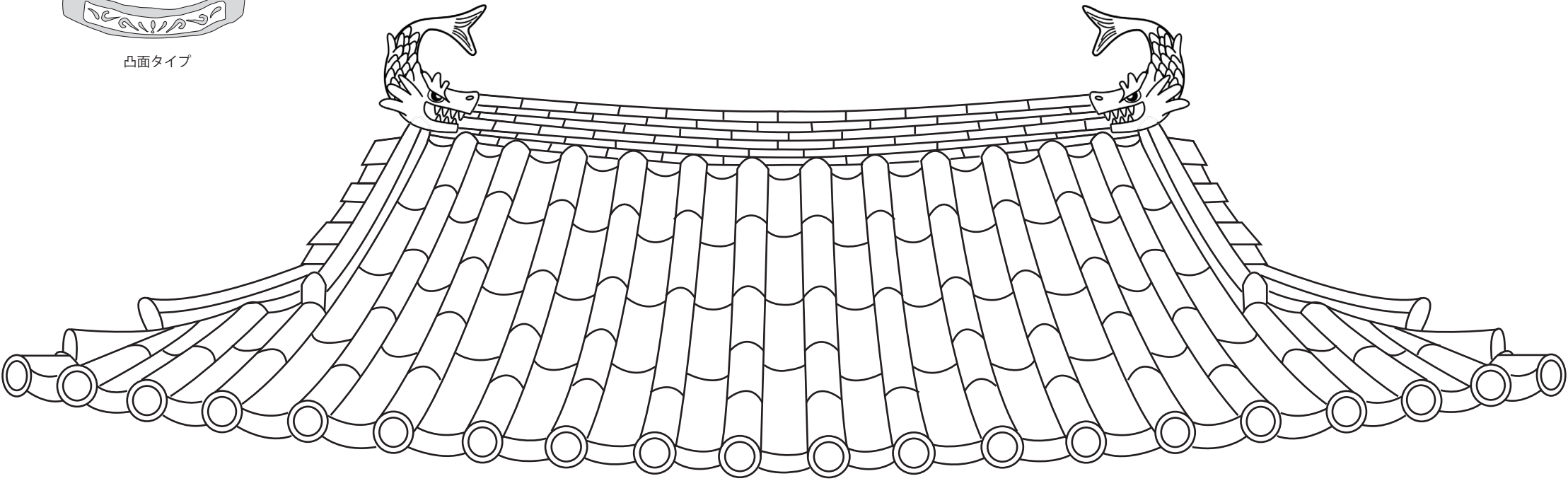
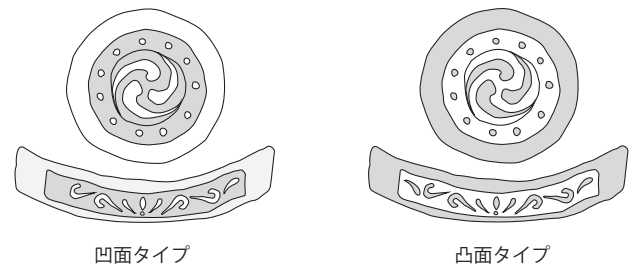


図 1 . 屋根の構造と瓦の使用先（※説明に従って金箔瓦を使った所に印又は色を付けてみましょう。）

II. 金箔瓦が出土した城郭

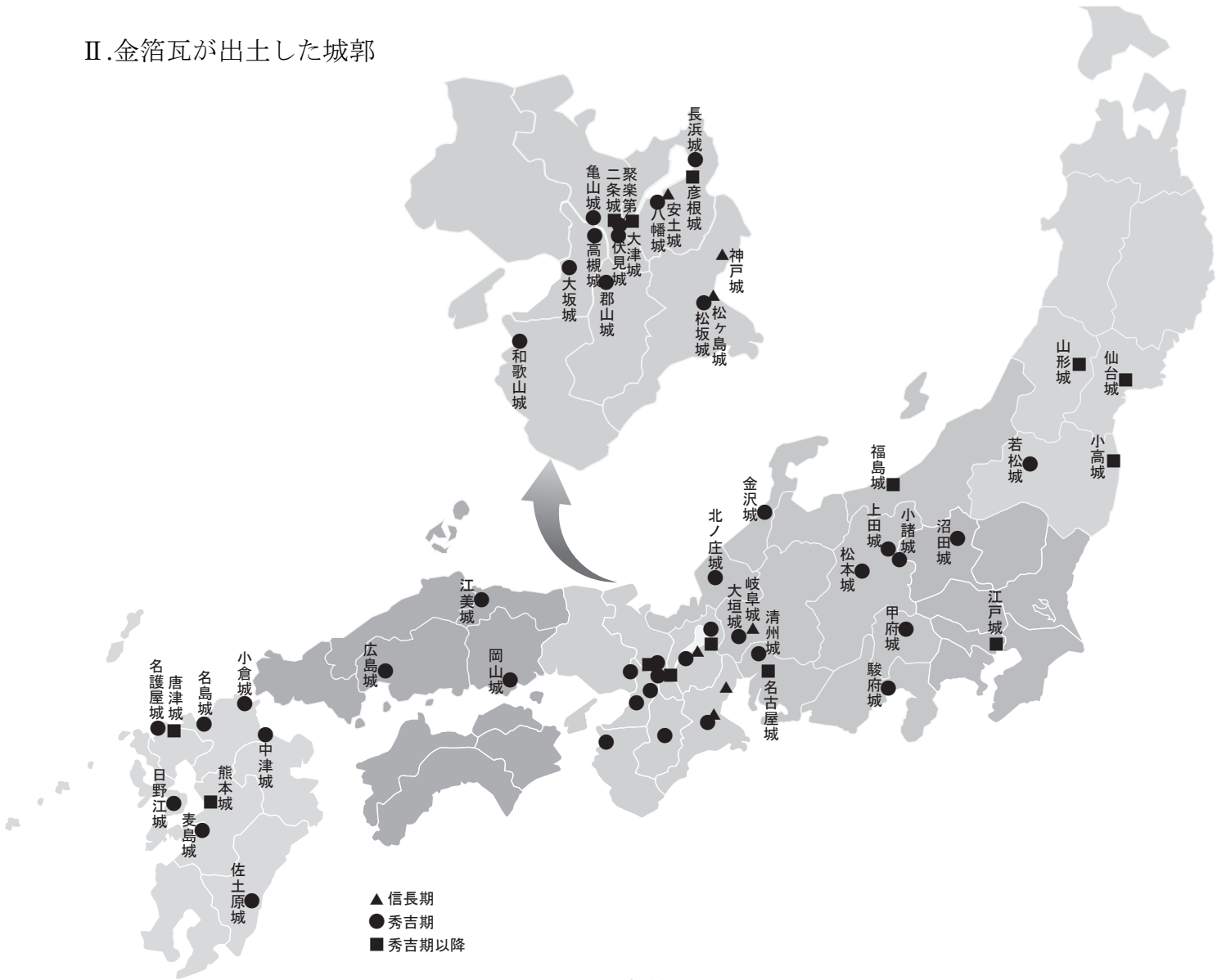


図 2 . 金箔瓦出土城郭

Ⅲ.金箔瓦の誕生

- 1）織豊系城郭の出現：高石垣、瓦葺建物、礎石建物の導入（中井 1990）
- 2）安土城跡
 - ・最初に金箔瓦を使用した城郭。
 - ・「天主」周辺から出土。文様部の凹面に金箔を貼る凹面タイプ。
 - ・織田信長は、金箔瓦の使用を自身とその直系一族以外には使用を認めなかった。岐阜市・岐阜城（長男・信忠）、松阪市・松ヶ島城（次男・信雄）、
松阪市・松阪城（松ヶ島城を移築）、鈴鹿市・伊勢神戸城（三男・信孝）、
京都市・旧二条城（足利義昭）※旧二条城は足利義昭のために織田が建てた城。
- ・金箔瓦の発生：

①『信長公記』「瓦は唐人の一観に命じ、その指揮下に奈良の工人が焼いた。」（中村 1979）

②安土城の金碧障壁画を担当した狩野永徳が関与したか（中村 2003）

和 暦	西 暦	できごと
天正4年	1576	織田信長、安土城築城開始
天正7年	1579	安土城天主完成し、信長入城
天正10年	1582	本能寺の変後、安土城に明智光秀入城。山崎合戦後主郭部分が焼失
天正11年	1583	豊臣秀吉、大坂城築城開始
天正13年	1585	徳川家康、駿府城築城開始
天正14年	1586	秀吉、聚楽第築城開始。大坂城外郭普請開始
天正15年	1587	聚楽第完成し、秀吉入城
天正17年	1589	毛利輝元、広島城築城開始
天正18年	1590	家康の関東移封に伴い、中村一氏が駿府城へ入城
天正19年	1591	秀吉より関白職を譲られた豊臣秀次、聚楽第入城
文禄元年	1592	秀吉、伏見に隠居所の造営開始
文禄2年	1593	秀吉、伏見の隠居所に移る
文禄3年	1594	秀吉、伏見の隠居所の城郭化（指月伏見城）普請
文禄4年	1595	秀次追放され、聚楽第破却
文禄5年	1596	大地震により伏見指月城倒壊。秀吉、伏見木幡山に築城着手
慶長2年	1597	秀吉、内裏近くに京都新城を造営。伏見城は概ね完成
慶長3年	1598	大坂城三ノ丸普請着手。秀吉、伏見城にて没
慶長4年	1599	徳川家康、伏見城に入城
慶長5年	1600	関ヶ原前哨戦で伏見城焼失。京都新城の堀、堀、石垣など破却
慶長7年	1602	家康、伏見城の再建着手、二条城の築城開始
慶長8年	1603	家康、伏見城にて将軍宣下。家康、二条城入城
慶長10年	1605	徳川秀忠、伏見城にて将軍宣下
慶長11年	1606	再建伏見城ほぼ完成
慶長12年	1607	家康、天正期の駿府城天守を破却し、新たに築城
慶長19年	1614	大坂冬の陣後、大坂城の惣構、三ノ丸、二ノ丸を破却
慶長20年	1615	大坂夏の陣にて、大坂城焼亡
元和 6 年	1620	秀忠、大坂城再建開始
元和 9 年	1623	伏見城廃城
寛永元年	1624	後水尾天皇行幸を控え、二条城大規模改築

表 1．関係略年表

3）大坂城跡

- ・『大阪夏の陣図屏風』に描かれた大坂城。
- ・三ノ丸跡・惣構跡で金箔瓦が多量出土。三ノ丸内に存在した武家屋敷に使用。
- ・文様部の凸面に金箔を貼る凸面タイプ。



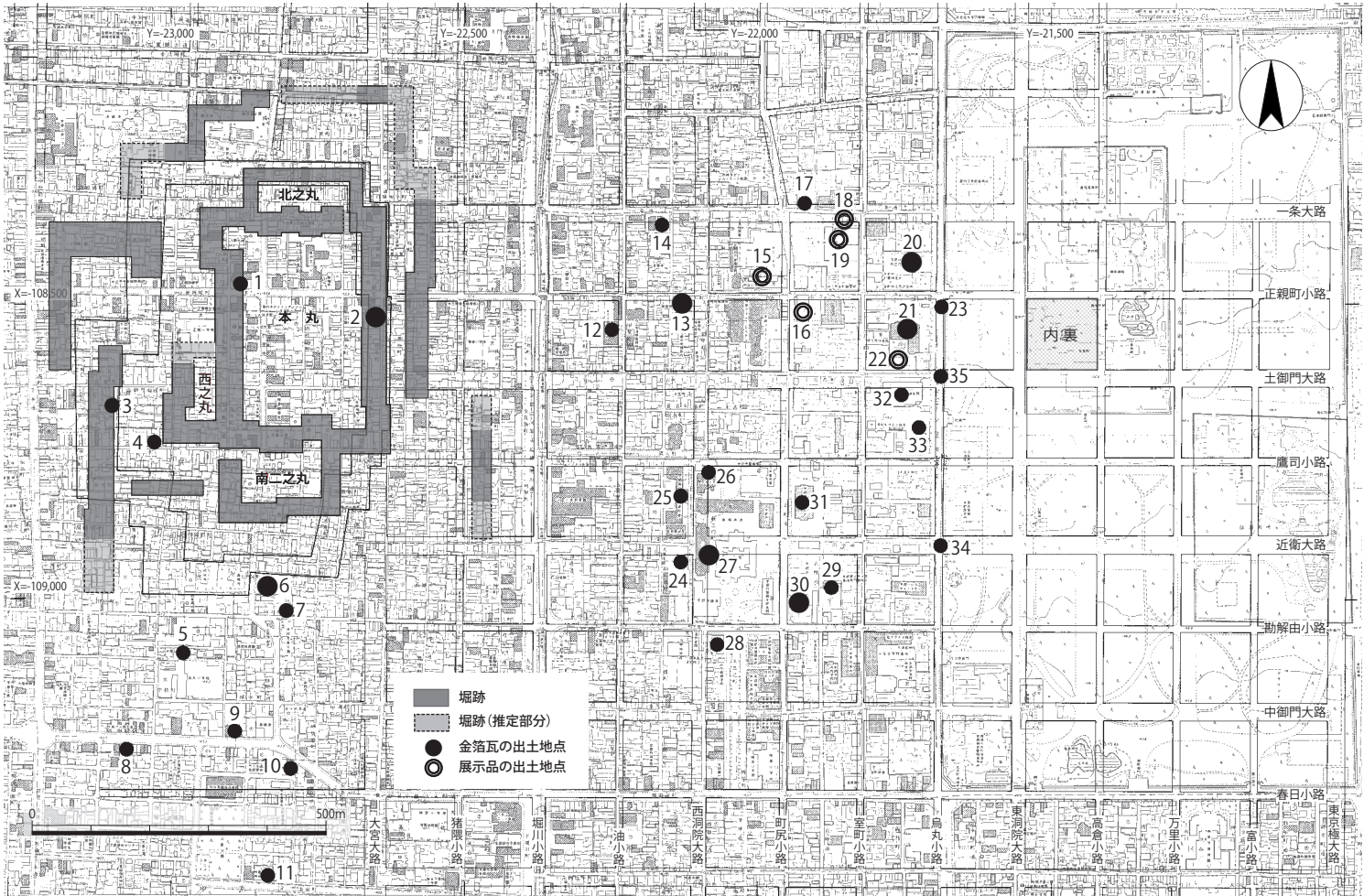
地区	番号	調査地	豊臣前期			豊臣後期			徳川期			不明		
			丸	平	飾	丸	平	飾	丸	平	飾	丸	平	飾
A	1	OS86-32				●	●							●
	2	OS83-14				●	●							●
	3	OS82-20												●
	4	OS84-17				●	○		●					●
	5	OS88-23				●		●						
B	6	OS92-74				●		●						
	7	OS83-15				●	●		●	●				
	8	OS87-93							●	●				
	9	OS94-33	●		●									
	10	OS97-1				●	●	●						
	11	OS88-121				●		●						
	12	OS89-90						●						
C	13	OS89-74				●	●		●					
	14	OS86-34				●			●					
	15	北調査地				●	●	●	●	●				●
	16	南調査地				●	●	●						
D	17	OS93-54	●											
	18	OS90-20			●									
	19	OS87-81			●									
	20	OS86-22						●						
E	21	OS94-50							●					
	22	OS89-58								●				
	23	OS90-51	●											
	24	OS96-52	●											
	25	OS87-33	●											
	26	OS92-19						●						
	27	OS93-47				●	●		●					
F	28	OS97-45						●						
	29	OS91-32				○	○							●
	30	OS92-12	●	●	●									
	31	OS92-22	●			●								
	32	OS89-19	●	●	●									●

※豊臣前期：本願寺焼亡より大坂城三ノ丸築城開始（1598年）まで
豊臣後期：三ノ丸築城より大坂夏ノ陣（1615年）まで
徳 川 期：大坂夏ノ陣以降

地区	番号	調査地	豊臣前期			豊臣後期			徳川期			不明		
			丸	平	飾	丸	平	飾	丸	平	飾	丸	平	飾
F	33	OS99-59	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●
	34	旧中央体育館跡	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●
	35	国立大阪病院内	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●
	36	難波宮史跡公園内				○	○	○	●	●	●	●	●	●
	37	NW17												●
G	38	阪神高速				●		○					●	
	39	NW6												●
	40	NW11											●	
	41	NW8											●	
	42	NW80-9						●						●
	43	NW77											●	●
	44	NW32											●	●
	45	NW41												●
	46	NW93-19				○								
	47	NW95-10・11							●	●				
H	48	NW171							●	●				
	49	NW90-7	●			○	○	○						
	50	NW97-2							●					
	51	MR98-2	●	●										
	52	MR3-4				●	●	●						
	53	MR94-8	●											
	54	NW88-14							●					
I	55	OS94-20	●	●	●									
	56	OJ96-13				●								
	57	OS86-20							●					
	58	OU97-3				●		●	●					
	59	OJ91-11						●	●	●				
	60	OJ92-18				○			●	●				
	61	OJ92-33						●			●			
TN	62	OJ96-11									●			
	63	OJ97-6							●					
	64	TN93-3									●			
	65	TW98-1							●	●				

※○は豊臣期であるが、前期・後期のいずれか不明なものを指す。
※財団法人大阪市文化財協会『大坂城跡Ⅶ』2003 年を一部修正・改変

図 3．大坂城跡金箔瓦出土地と一覧表



番号	遺跡・推定地	調査地	調査概要・出土状況	金箔瓦の種類
1	平安宮(主殿寮)	上京区中立売通智恵光院西入多聞町	聚楽第北東部の調査。出土遺構不明。	軒丸瓦・軒平瓦。数量不明。
2	平安宮(内教坊)	上京区大宮通中立売通下る和水町(現ハローワーク西陣)	聚楽第東辺部の調査。東側濠から出土。	軒丸瓦・軒平瓦・小菊・輪違瓦・飾瓦・鬼瓦・獅子口・熨斗瓦。千数百点。
3	平安宮(縫殿寮)	上京区土屋町通上長者町下る山王町	聚楽第西边部の調査。出土遺構不明。	軒丸瓦1
4	平安宮(縫殿寮)	上京区下長者町浄福寺西入新御幸町	聚楽第西边部の調査。出土遺構不明。	軒平瓦。数量不明。
5	平安宮(内裏)	上京区浄福寺通下立売下る中務町(出水小学校)	聚楽第南西部の調査。出土遺構不明。	鬼瓦1。
6	平安宮(内酒殿)	上京区日暮通下立売上る分銅町556(出水団地)	聚楽第南辺部の調査。土取穴から出土。 中村邸で使用したと推定。	軒丸瓦・軒平瓦・熨斗瓦・鬼瓦。30点。
7	平安宮(佐兵衛府・侍従所)	上京区下立売通日暮西入中村町543・546	聚楽第南辺部の調査。土坑から出土。	軒丸瓦3点。
8	平安宮(中務省)	上京区丸太町通千本東入中務町	出土遺構不明。	軒平瓦3点。
9	平安宮(西院)	上京区日暮通丸太町上る西院町	井戸から出土	軒丸瓦・軒平瓦。数量不明。
10	平安宮(主水司)	上京区丸太町智恵光院西入西院町(丸太町ビル)	土坑から出土	軒丸瓦1点・軒平瓦3点。
11	平安宮(宮内省)	上京区竹屋町通千本東入主税町	溝から出土	軒丸瓦4点・軒平瓦2点・菊丸瓦2点・鬼瓦1点。
12	左京北辺三坊六町	上京区油小路通中立売下る甲斐守町(西陣電話局)	六町北東部の調査。瓦溜から出土	種類・数量不明。
13	左京北辺二坊七町	上京区中立売通小川東入三丁目(京都府教育研究所)	七町北東部の調査。落込み遺構から出土。	軒丸瓦・軒平瓦・飾瓦。30点。
14	左京北辺二坊八町	上京区小川通一条下る小川町(現マンション)	八町北東部の調査。土坑から出土。	軒丸瓦1点・飾瓦1点。
15	左京北辺三坊一町	上京区中立売通新町西入三丁目457(現新町小学校2次)	一町南東部の調査。土坑から出土	軒丸瓦・軒平瓦・熨斗瓦・鬼瓦・飾瓦・面戸瓦・鯨瓦。650点。
16	左京北辺三坊三町・内膳町	上京区中立売通室町西入三丁目466・2(現マンション)	三町北西部の調査。井戸・土坑などから多量出土。	軒丸瓦19点、軒平瓦25点、飾瓦39点、棟込瓦8点、熨斗瓦5点。
17	左京北辺三坊四町	上京区一条通室町西入西日野殿町(現同仁病院駐車場)	四町北側一条大路の調査。出土遺構不明。	種類・数量不明。
18	左京北辺三坊四町	上京区一条通室町西入東日野殿町(上京中学校4次)	四町北辺部の調査。堀から出土。	軒丸瓦・軒平瓦・鳥衾瓦・棟端飾瓦・鯨瓦・方形飾瓦。402点
19	左京北辺三坊四町	上京区一条通室町西入東日野殿町(上京中学校3次)	四町中央部の調査。東西濠及び周辺土坑から出土。	軒丸瓦・軒平瓦・熨斗瓦・鬼瓦。約300点。
20	左京北辺三坊五町	上京区烏丸通中立売上る龍前町590(現府民ホールアルティ)	五町南中央部の調査。石室・井戸・溝などから出土。	軒丸瓦・軒平瓦・熨斗瓦・垂木先瓦。数量不明。
21	左京北辺三坊六町	上京区烏丸通上長者町上る竜前町(現平安会館)	六町中央部の調査。出土遺構不明、園池か。	軒丸瓦31点・軒平瓦23点・熨斗瓦・垂木先瓦・鬼瓦。
22	左京北辺三坊六町・内膳町	上京区上長者町通烏丸西入元浄花院町581(現マンション)	六町南中央部の調査。土坑から出土。	軒丸瓦・軒平瓦・飾瓦。数量不明。
23	左京北辺三坊七町	上京区烏丸通中立売上る竜前町・御苑町(烏丸線№2)	七町北西部の調査。土坑から出土。	軒丸瓦・熨斗瓦。5点。
24	左京一条三坊十四町	上京区西洞院通下立売上る西大路町(府庁西)	十四町東側の調査。土坑などから出土。	軒丸瓦・軒平瓦・飾瓦。個数不明。
25	左京一条二坊十五町・茶屋四郎次郎邸宅跡	上京区西洞院通下長者町ル丁字風呂呂町102(府庁西)	五町南側・茶屋四郎次郎邸宅跡の南部の調査。	軒丸瓦1点。
26	左京一条三坊二町	上京区下立売通新町西入藪之内町(京都府庁職員福利厚生棟)	二町北西隅・西洞院大路の調査。二町内の土坑・井戸から出土。	軒丸瓦3点、飾瓦1点。
27	左京一条三坊三町	上京区下立売通新町西入藪之内町(京都府総務部)	近衛大路・西洞院大路交差点の調査。三町北西隅瓦溜から出土。	軒丸瓦10点・軒平瓦4点・飾瓦52点。
28	左京一条三坊四町	上京区釜座通下立売下る東裏辻町(上京消防署)	四町北西部の調査。池などから出土。	種類・数量不明。
29	左京一条三坊六町	上京区衣棚通下水下る常泉院町(赤十字病院看護婦寮)	六町中央部の調査。出土遺構不明。	軒丸瓦。数量不明。
30	左京一条三坊六町	上京区新町下立売通上る両御堂町他(京都府警察本部広報センター)	六町南西部の調査。堀・土坑などから出土。	軒丸瓦・軒平瓦・輪違瓦・飾瓦。数量不明。
31	左京一条三坊七町	上京区新町通下長者町下る御堂町(地方検察庁)	七町西部の調査。出土地不明。	軒丸瓦2点・鬼瓦2点・鬼瓦2点。
32	左京一条三坊九町	上京区烏丸通上長者町下る龍前町(KBS京都放送会館)	九町北中央の調査。包含層から出土。	軒丸瓦2点・鬼瓦2点。
33	左京一条三坊九町	上京区烏丸通下長者町上る龍前町(私学会館)	九町南東部の調査。出土遺構不明。	種類・数量不明。
34	左京一条三坊十五町	上京区烏丸通出水御苑町・桜鶴円町(烏丸線№44・X-2)	近衛大路・烏丸小路交差点の調査。溝・溝状遺構から出土。	軒平瓦1点、軒丸瓦1点。
35	左京一条三坊十六町	上京区烏丸通上長者町御苑町(烏丸線№16)	土御門大路・烏丸小路交差点の調査。溝から出土。	軒丸瓦1点。

※分布図は、京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課2017『天下人の城』京都市文化財ブックス第31集、一覧表は財団法人京都市埋蔵文化財研究所『平安京左京北辺三坊四町跡』京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告2002-9を一部修正・加筆したものである。

図4．聚楽第と周辺大名屋敷跡の金箔瓦出土地と一覧表

Ⅳ.金箔瓦の展開

1) 聚楽第跡

- ・『聚楽第図屏風』に描かれた聚楽第。
- ・本丸東掘、東側の大名屋敷跡から多量の金箔瓦が出土。
⇒金箔瓦の出土地点から後陽成天皇の行幸経路に面した屋敷を中心に金箔瓦を使用したと推定（森島 2001）。



図5．聚楽第跡本丸東掘出土金箔瓦【重要文化財】
(ハローワーク西陣出土、京都府埋蔵文化財調査研究センター 1993)



図6．聚楽第周辺大名屋敷跡出土金箔瓦
(1・2上京中学校 3・4上京区元浄花院町 5・8・9新町小学校 6・7上京区三丁目)

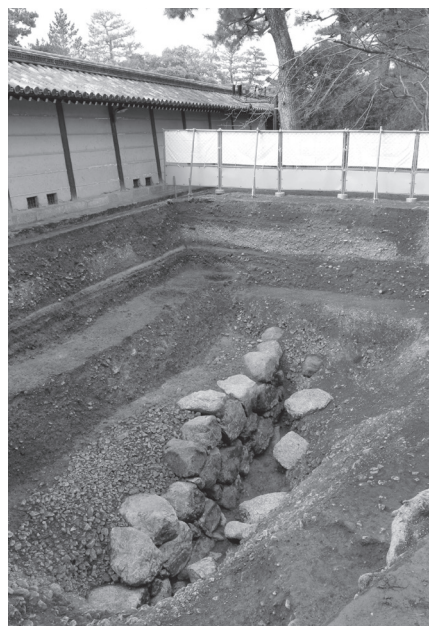


図 14. 石垣と堀の全景（南東から）

3) 京都新城跡

- ・2019 年度の京都仙洞御所内の発掘調査で、江戸時代前期の仙洞御所造成土の下層から初めて京都新城の堀と石垣を検出。
- ・堀の埋土から少量の金箔瓦が出土。

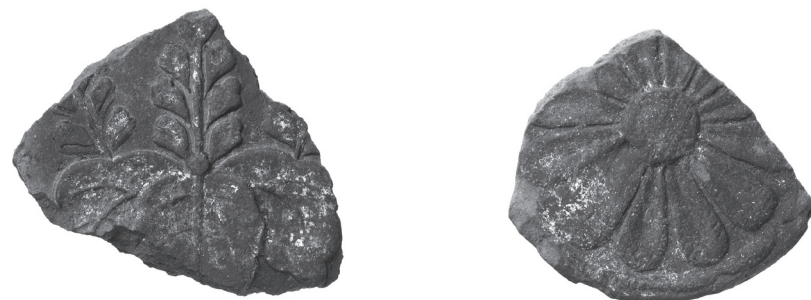


図 15. 京都新城跡出土金箔瓦

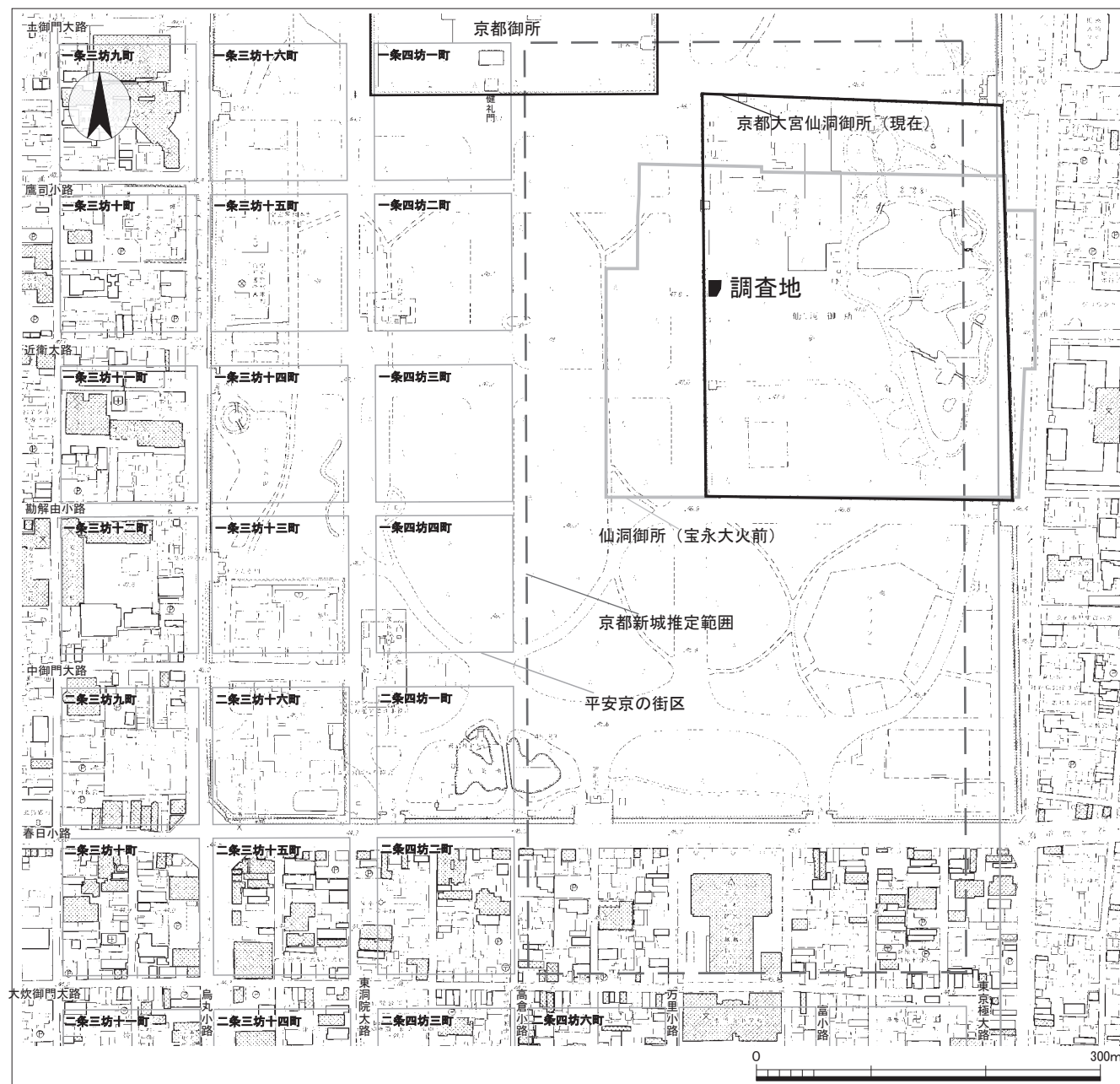


図 16. 京都新城調査位置

V.各地の金箔瓦

1) 駿府城跡

- ・天正 13 年（1585）、徳川家康が駿府城を築城開始。天正 17 年（1589）に完成するが、翌年家康は豊臣政権によって関東に移封され、駿府城に豊臣家臣の中村一氏が入城。関ヶ原戦後は、徳川家臣の内藤信成が城主となるが、慶長 11 年（1606）、前年に将軍職を徳川秀忠に譲った家康が駿府を隠居地に定め、翌年新たな城郭を造営。
- ・2018 年から 2019 年にかけて実施した駿府城本丸跡の発掘調査。
- ・慶長築城時の造成土の中から、中村一氏の居城であった天正期の天守台を飾っていたとみられる金箔瓦が約 330 点出土。

図 17. 駿府城跡出土金箔瓦
(静岡市教育委員会 2022)

2) 広島城跡

- ・天正 17 年（1589）、毛利輝元が築城開始。慶長 5 年（1600）の関ヶ原戦後は、福島正則が城主となるが、江戸幕府により改易され、以後は浅野氏が代々在城。
- ・広島城跡の発掘調査で、毛利氏・福島氏時代に用いられたと考えられる金箔瓦が多量出土。

図 18. 広島城跡出土鯨瓦・鬼瓦
(国土交通省中国地方整備局・株式会社パスコ 2010)

3) 上田城跡

- ・天正 11 年（1583）、真田昌幸が築城開始、天正 13 年に竣工。関ヶ原戦後は、長男信幸が城主。
- ・金箔瓦が数点出土。天正 18 年（1590）の徳川家康の関東移封の際に、豊臣方となった真田氏の城郭に使われたと考えられている。

図 19. 上田城跡出土金箔瓦
(上田市立博物館 1996)

VI.金箔瓦の終焉

1) 二条城

- ・『洛中洛外図屏風（堺市博本）』に描かれた二条城
- ・慶長7年（1602）、徳川家康が京都での拠点として造営を開始、翌年完成。
後水尾天皇の行幸を二条城で迎えるにあたって徳川秀忠・家光により寛永元年（1624）から大規模な増改築。
- ・後水尾天皇が滞在する行幸御殿跡での発掘調査で金箔瓦が出土。
菊丸瓦、輪違瓦が多い。→檜皮葺き建物の棟を飾ったと推定。

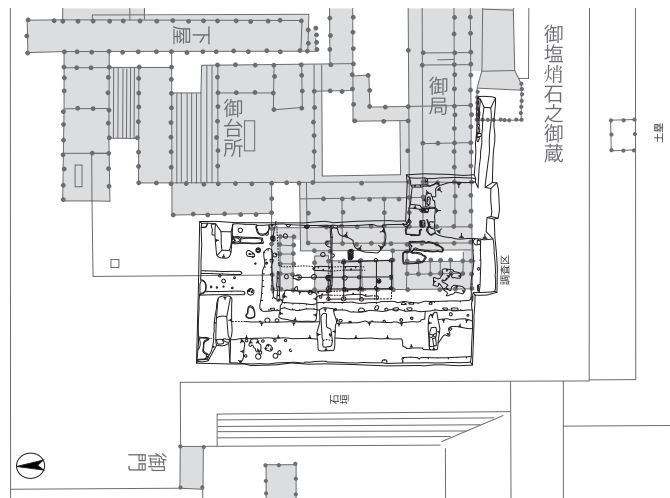


図 20. 二条城行幸御殿調査地



図 21. 二条城行幸御殿調査全景（北西から）

2) 公家町

- ・内裏・院御所に奉仕する公家の集住を目的とする豊臣期の政策の一環として天正3年（1575）に形成。
- ・天正13年（1585）頃、公家屋敷を移転させ、慶長2年（1597）には公家町の南側に京都新城を築城。秀吉没後、徳川家康が院御所や内裏の拡張に伴う公家屋敷の替地を行う。



図 22. 京都御苑と調査地（南から）



図 23. 京都迎賓館出土金箔瓦

- ・1997～2002年の京都迎賓館建設に伴う発掘調査により金箔瓦が出土。

「中むかし公家町之絵図」や「寛永十四年洛中絵図」（1637）に出土地を当てはめると、特権的な身分の所有の建物で使われたものではない。→徳川期には金箔瓦の使用規制が弛緩していたか。

【参考文献】

上田市立博物館 1996『金箔瓦の城』

加藤理文 2012『織豊権力と城郭一瓦と石垣の考古学一』高志書院

関西文化財調査会 2020『伏見城跡発掘調査報告』

京都市埋蔵文化財研究所 2022『伏見城跡』京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2021-9

京都市文化市民局 2000「伏見城跡（98FD394）」『京都市内遺跡立会調査概報 平成11年度』

京都市文化市民局 2021『指月城跡・伏見城跡発掘調査総括報告書』

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課 2017『天下人の城』京都市文化財ブックス第31集

国土交通省中国地方整備局・株式会社パスコ 2010『広島城跡上八丁堀地点』国土交通省中国地方整備局

財団法人大阪市文化財協会 2003『大坂城跡Ⅶ』

財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター1993「平安京跡（聚楽第跡）」『京都府遺跡調査概報』第54冊

静岡市教育委員会 2022『駿府城本丸・天守台跡～駿府城公園再整備事業に伴う発掘調査報告書～』静岡市埋蔵文化財報告

城郭談話会編 2017『織豊系城郭とは何かーその成果と課題ー』城郭談話会30周年記念 サンライズ出版

中井均 1990「織豊系城郭の画期ー礎石建物・河原・石垣の出現ー」『中世城郭研究論集』新人物往来社

中村博司 1979「大坂城金箔瓦に関する基礎的考察」『大坂城の諸研究』名著出版

中村博司 2003「金箔瓦論ー金箔瓦のプロデューサーー」『日本考古学協会 2003年度大会研究発表要旨』

中村博司 2019「伏見（指月）城と禁中における金箔瓦の箔押し作業の手間代注文について」『歴史・民族・考古学論攷（1）』辻尾榮市氏古希記念論攷刊行会編刊

森島康雄 2001「聚楽第と城下町」『豊臣秀吉と京都ー聚楽第・御土居と伏見城ー』日本史研究会編、文理閣

有限会社京都平安文化財 2021『伏見城跡・指月城跡ー平成27年度発掘調査報告書ー』